

中央教育審議会委員
国際社会学者

中嶋嶺雄



エッセイ

愛国心を考える

中央教育審議会が教育基本法の見直しに関する論議を行っていた期間は、9・11国際テロに続いて、瀋陽日本総領事館事件、北朝鮮による一連の拉致事件発覚、そしてこのたびの対イラク戦争と、国際社会での衝撃的な出来事が相次いだ時期であった。そのような状況に直面していただだけに、国際社会のいわゆるグローバル化と日本人のアイデンティティについての論議も、愛国心や宗教に関する論点

も、原理的なレベルから現実的な段階にいたるまで、かなり突っ込んだ討論が重ねられたといつてよい。中間報告では、「国際社会を生きる教養ある日本人として、自らが国際社会の一員であることを自覚し国際社会に貢献しようとする意識とともに、自らのアイデンティティの基礎となる伝統、文化を尊重し、郷土や国を愛する心を持つことが重要である」とされていた愛国心についての表現は、最

終答申では、「自らの国や地域の伝統・文化について理解を深め、尊重し、日本人であることの自覚や、郷土や国を愛する心の涵養を図ることが重要である」となった。同時に他の国や地域の伝統・文化に対する敬意の必要性を訴えているのだが、愛国心に関しては、それが「国家至

上主義的な考え方や全体主義的なものになつてはならないことは言うまでもない」とのことわりが中間報告と同様につけられた。

ところで、中央教育審議会の文言では、一部のマスコミやアナクロニスティックな反対論考を意識してか、「愛国心」という用語を避けているのだが、私個人はその必要もなく、また上記のようなことわりも本来はいらなないと思つている。たしかに愛国心という言葉は感情的価値を伴う厄介な概念であり、私たちの同時代史においては、いわば左右両翼がいずれもその陥穽に落ち込んだといえよう。この言葉は、亡き清水幾太郎氏が早くも一九五〇年に名著『愛国心』(岩波新書)で指摘していたように、個人の自覚と民主主義を欠いている場合には、大いに困った存在になるのである。だとすれば、我が国のように個人主義も民主主義も制度的に保証されている場合と、戦前のファシズムの時代の愛国心とはその時代環境がまったく異なっているのであり、今回の中央教育審議会においても、愛国心を時代錯誤的に鼓吹するような意見はまったくなかったからである。

文部科学時報

文部科学省 編集

特集 ● 中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい
教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」

巻頭言 遠山敦子 答申に当たって 鳥居泰彦 エッセイ 木村 孟／茂木友三郎／
梶田勲一／田村哲夫／永井多恵子／中嶋嶺雄／中村桂子／森 隆夫／山本恒夫

平成15年
No.1524

5

●特別記事 「英語が使える日本人」の育成のための行動計画について



CONTENTS

特集

中央教育審議会答申

「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」

- 巻頭言 10 新しい時代にふさわしい教育の実現に向けて ● 遠山敦子
- 答申に当たって 12 「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について(答申)」に当たって
● 鳥居泰彦
- エッセイ 14 新しい教育の理念について 教育改革国民会議から答申までを振り返る ● 木村 孟
- 16 教育における競争 ● 茂木友三郎
- 17 宗教教育はどうあるべきか ● 梶田毅一
- 18 教育理念としての新しい「公共」 ● 田村哲夫
- 19 職業と教育とのリンケージ ● 永井多恵子
- 20 愛国心を考える ● 中嶋嶺雄
- 21 自然の一つである人間 生命を基本にする社会を ● 中村桂子
- 22 家庭に『心の庭』を 家庭教育の基礎基本 ● 森 隆夫
- 23 均整のとれた生涯学習社会実現への期待 ● 山本恒夫
- 解説 24 中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」について(概要)
- 答申 26 中央教育審議会答申
「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」
- 資料 41 教育基本法
- 42 基本問題部会における「有識者からのヒアリング」の概要
- 49 教育基本法制定当時と現在の社会状況変化に関する各種データ

特別記事

「英語が使える日本人」の育成のための行動計画について

50 「英語が使える日本人」の育成のための行動計画について

● 初等中等教育局国際教育課

- 6 であい、ふれあい ● 栗山英樹
- 8 インフォメーション
- 60 焦点―文教・科学技術施策
● インターネットによる申請・届出
等手続の受付開始について
- 64 情報チャネル 見てみて！ 見に来て！
エル・ネット
● ご存じですか？ エル・ネット
- 66 レッツトライ！
● 国立警備青年の家
- 68 新しい科学技術の重点分野
● ライフサイエンスの推進について
ライフサイエンス研究の戦略的推進と豊かな
高齢化社会の実現を目指して(その一)
- 70 科学技術のフロンティア
● 航空宇宙科学技術の推進
- 72 SPP事業全国巡回
科学技術・理科大好きプラン最前線
● 大学 研究機関等と
教育現場との連携に向けた
サイエンス・パートナーシップ・
プログラムの取組
- 74 次代を輝らす光科学技術
● 今なぜ光科学技術なのか？
- 76 海外最新情報
- 80 鑑賞席
- 84 編集後記

カラー

- 1 あたらしい学舎(まなびや)
- 新潟県聖籠町立聖籠中学校
- 表2 温故知新
- 知恩院三門、本堂(御影堂)
- 表3 温故知新
- 高輝度放射光技術が
可能にした超伝導機構の解明